



新型コロナウイルス感染拡大深刻

新型コロナウイルス感染拡大が世界的規模で広がり、暮らしと地域経済に大きな影響をおよぼしています。甲賀市内で感染者（PCR検査で陽性）が確認され、クラスターによるさらなる感染拡大も懸念されています。

こうした状況のもと、日本共産党甲賀市議員団は3月18日と4月7日、市民から寄せられた要望等をまとめ、「市民のいのちと暮らしを守る支援策」を求める緊急申し入れを行いました（写真は3月18日、教育長に）。

感染予防のためには、3密（密閉・密集・密接）を避けること、こまめな手洗いなど個人ができることと同時に、政治の責任が問われているとして、国や県、市の支援策を具体的に求めています。また「自粛と補償はセットで対応すべき」と、収入減となる市民・業者に対する支援策、税・料金の減免や納税猶予制度を活用するよう、市民に周知することも大事と指摘しました。

岡田重美議員が代表質問



市民のいのちと暮らしを守る市政を

各会派による代表質問が2月27日行われ、日本共産党甲賀市議員団を代表して岡田重美議員が質問しました。岡田議員の代表質問は初めて。岩永市政4年目の当初予算ということもあり、①国政の焦点と市民の暮らし、②岩永市政3年余の前進面と課題、③新年度予算案の特徴について、市民の切実な願い実現と市政の問題点を質しました。

岡田議員は、市民のいのち・暮らしと国政との関わりの問題で市長の認識を問いました。気候変動やジェンダー平等については重要な課題との認識でしたが、原発ゼロや9条改憲などは、これまでと同様に国が判断することとの答弁にとどまりました。

岩永市政の評価と課題では、市民対話に基づくとした市政運営などについて質しました。まちづくり活動センター事業など市民と意見交換をおし進めさせたとの答弁でしたが、旧甲賀病院跡地利用における7000

筆の署名提出者の意見を一度も聞かなかった点は市長の姿勢と矛盾することを指摘しました。

新年度予算では、大切な税金は市民のいのちと暮らし、福祉や教育充実のために使うべきと強調するとともに、災害・防災対策、学校給食費負担軽減・無償化、特別養護老人ホーム増設などの実現を求めました。

2020年 3月定例議会特集

2020.2.18~3.25

新年度予算を中心に審査する3月定例議会は2月18日から3月25日まで開かれました。一般会計や特別会計・企業会計などの新年度予算10件と補正予算4件、条例改正11件、さらに教育長などの人事・契約議決など35件の議案について審査しました。このうち一般会計・国保・後期高齢者医療・介護保険の会計については、理由を述べて反対しました。各会派の主な議案に対する態度は以下の通り。

各会派・無所属	提出	討論	討論	可否	共産党			凜風会					志誠会				公明党		無		谷永兼二					
		賛成	反対		山岡光広	小西喜代次	岡田重美	橋本律子	辻重治	土山定信	田中新人	橋本恒典	林田久充	山中善治	田中喜克	森田久生	小河文人	戎脇浩	山中修平	里見淳		糸目仁樹	白坂萬里子	田中將之	堀郁子	鶴飼勲
主な議案に対する各会派の態度																										
令和2年度甲賀市一般会計予算	市長	里見 淳 橋本 恒典 堀 郁子	小西喜代次	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度甲賀市国民健康保険特別会計予算	市長	山中 修平	岡田 重美	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度甲賀市後期高齢者医療特別会計予算	市長	竹若 茂國	岡田 重美	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度甲賀市介護保険特別会計予算	市長	橋本 恒典	岡田 重美	可決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和2年度特別会計・企業会計／令和元年度一般会計・特別会計補正予算 10議案	市長	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正・契約・市道の廃止と認定など17議案	市長	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
「マクロ経済スライド」廃止の意見書を求める請願	年金者組合	岡田 重美	堀 郁子	不採択	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
補聴器購入助成制度を求める請願	生健会・年金者組合	岡田 重美	山中善治	不採択	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
カジノ汚職の徹底究明・カジノ解禁の廃止を求める意見書	小西喜代次	山岡 光広	辻 重治	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
「全世代型社会保障検討会議」の中間報告を見直し社会保障制度の抜本的な拡充を求める意見書	岡田 重美	小西喜代次	白坂萬里子	否決	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
ジェンダー平等社会の実現をめざし関係法令の整備を求める意見書	山岡 光広	岡田 重美	糸目仁樹	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○
新たな過疎対策法の制定に関する意見書	田中將之	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中高年の引きこもりに対する実効ある支援と対策を求める意見書	堀 郁子	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会本会議の開会時間を9時半（現行10時から）に変更する条例改正	議運委員長	討論なし		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長の
ため採決に
加わらず

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2020年 4月 19日 第305号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765

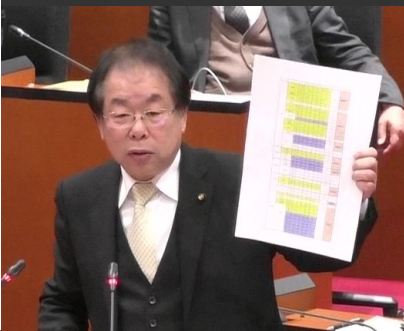


岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696

山岡光広・小西喜代次議員が一般質問

発言順

山岡光広議員



◆公文書管理のあり方、◆アレルギー対応給食の実施について、◆甲賀市市営住宅長寿命化計画について、◆精神障がい者に対する医療費助成拡充、◆新名神甲南ICとPAの流出入路の接続を

問 公文書は市民共有の財産という視点で、公文書の作成・管理・保存を明記した条例を制定すべき。

総務部長 文書取扱規程を設けているが、条例の必要性も含め検討していく。

問 新年度から食物アレルギー対応給食が実施される。食物アレルギーを有する児童はどれだけか。安全のために、食材・調理・配送・配膳などのマニュアル化は。保護者の交流会を企画してはどうか。

教育部長 食物アレルギーを起こす食物と児童数は、卵213人、乳90人、小麦27人、蕎麦62人、甲殻類106人。現行の手引きを見直し、マニュアルを作成中。保護者の交流会は給食開始までに開催を検討している。

問 市内の市営住宅は501戸。そのほとんどは耐用年数30年以上であり、古い住宅の中には「浴室はあるが浴槽がない」住宅もある。これでは「良好な居住環境」と言えないのではないか。

建設部長 必ずしも良好であると言えない部分もあるが、そのような条件のもとで居住いただいている。計画的に設備改修を実施していく。

問 新名神甲南インターとPAの流出入路の接続を。

市長 今後さらに県に要望していく。

小西喜代次議員



◆市営住宅の入居条件から保証人の削除を、◆水道は広域化・民営化ではなく公共事業として維持管理を、◆税・料金の滞納対策について、◆信楽町勅旨西恩寺橋の早期改善を

問 12月議会でも市営住宅の入居条件から保証人規定を削除することを提案したが、今後の検討課題との答弁であった。国交省住宅局長通知で条例からの削除を求めている。条例を改正すべきではないか。

建設部長 9月議会でも保証人削除の条例改正を提案する方向で検討している。

問 水道事業の民営化に道を開く水道法が2018年に改正された。主な内容は、広域化と官民連携をセットで進めることが目的とされている。世界は民営化の失敗の経験から再公営化の流れである。広域化・民営化でなく公営事業として維持管理を図るべきではないか。

上下水道部長 現在のところ民営化は考えていない。広域化は広域連携を検討することとしている。

問 税・料金の滞納対策は部局横断的な連携で生活再建の視点での対応が必要ではないか。また、分納誓約後の延滞金の加算はやめるべきではないか。

総務部長 生活の立て直し、租税力の回復につながるよう取り組んでいる。延滞金の減免は申請があれば対応する。

問 信楽町の勅旨西恩寺橋の早期拡幅を求める。

建設部長 長寿命化工事の際に拡幅も視野に検討する。詳細な着工時期は未定。

新年度の国民健康保険税算定の基礎となる「一人当たり標準保険料と納付金」を県が公表しました。日本共産党滋賀県地方議員団は2月5日、「都道府県単位化によって国保の構造的危機は打開できない。むしろ加入者の負担増となる」と制度の問題点を指摘しながら、加入者に負担をおしつけないために、7項目の緊急申し入れを行いました（写真）。甲賀市では「基金や繰越金を活用して負担増とならないよう努力する」としています。



国民健康保険税 加入者に負担増押しつけるな

3月予算議会を終えて



日本共産党甲賀市議員団として、市内各団体のご意見・要望を聞く「要求懇談会」を初めて開きました。7団体の代表から切実な要求が寄せられました。今後の活動に生かしていきます。

山岡 新型コロナウイルス感染が心配される中での議会でした。ね。

小西 議会も少し日程を調整し、党議員団としても新型コロナウイルス対策の緊急申し入れをした。

岡田 私は初めての代表質問だったので緊張しました。

小西 本会議質疑も委員会も党議員団は積極的に発言した。

岡田 市民から2つの請願が出されましたが、賛成少数で不採択となったのは残念。特に補聴器購入補助で公明党の堀議員が反対したのは驚きでした。

小西 一般質問で補聴器購入に補助を要望しておいて請願には反対討論までとは...

山岡 以前に中学校卒業まで医療費無料化拡充してほしい、という請願の時も同じことが。一貫性がないのは問題ですね。

岡田 ジェンダー平等社会へ関係法令の整備を求める意見書が賛成多数で可決された意味は大きいですね。

小西 この意見書にも公明と志誠会の議員が反対した。